

BCAO 情報システム・バックアップオフィス研究会 議事録

1. 2020年 9月 定例研究会

- 開催日 : 2020年9月23日(水)18:00~20:00
- 開催方法: ZOOM
- 進行 : 加藤
- 議事録: 加藤
- 出席者: 野原、吉川、伊藤、大塚、岡、加藤(敬称略、以下同様) 以上6名
- 配布資料: 研究会発表資料案 加藤

2. 内容

(1)9月29日(火)に行われる、BCAO 研究会における報告案を検討した。要旨は以下。

- 従来の「情報プラットフォームは社会の基幹インフラであり、事業継続における情報システムの役割は経営資源全般に拡大する中、新型コロナウイルスによるパンデミックが発生した。
- その結果、リモートワークの急激な拡大、接触追跡アプリの公開等の情報システム、ネットワーク等が急激に進展した。
- 今後とも、研究会の基本ビジョンは維持しつつ、after/with コロナの世界での事業継続に関する情報システムの役割を検討していく

(2)研究会報告案への意見・コメント

- リモートワークと狭くとらえず、働き方改革が急進展したと捉えるのがよい。
- 地震のような破壊系のリスクとは違うタイプのリスクが顕在化した。経営資源では、ヒトに影響するが、オフィス・公共インフラ・情報システム等が破壊されるものではない。また、リスクが一過性ではなく長時間継続し、かつ、収束の見通しが明らかでない点に特徴がある。
- 11年前の豚インフルの際に検討・決定されていた、政府対応などと異なる進行・指示(最初期からのロックダウン指示等)があり、従来のパンデミック対応 BCP が生かされなかった例もある。
- 単純な回復ではなく、新しい体制を模索しつつ復活を目指す動きも出てくる。
- 情報の取り扱い中心の業種と、現場のある業種等での対応が異なると思われる。

(3)関西合同研究会検討状況の報告

- 11月18日夜に ZOOM 開催の方向で検討中。
- トピック、進行を関西研究会座長等と構想中。

3. 次回

- 検討の上、調整・報告する。ー

以上